

9月20日(日曜日)「言行不一致？」

【新改訳 2017】

ルカ 6.46-49

「なぜ、わたしを『主よ、主よ』と呼びながら、わたしの言うことを行わないのですか。わたしのもとに来て、わたしのことばを聞き、それを行う人たちがどんな人に似ているか、あなたがたに示しましょう。」(46、47 節)

最初の問いかけ(46 節)は、信仰者のもう1つの試金石といえるでしょう。「愛する神さま」「主イエスさま」と言いながら、みことばに従わず、行おうとしないならば、言行不一致ということになります。そういう人は、土台なしで地面に家を建てた人に似ており、洪水が押し寄せると、ひどく倒れてしまうのです。しかし、みことばを聞いて行う人は、地面を深く掘り下げ、岩盤の上に土台を据えて家を建てたのに似ており、洪水が来てもびくともしません。

聞きっぱなしと、聞いて実行するのとでは、大きな違いがあります。私たちも美しいことばを連発しては不渡り手形にしてはいないでしょうか。ヤコブはそれを、自分を欺

くことだと言っています(ヤコブ 1.22)。気をつけましょう。

～祈り～

主よ。どうか、あなたを、真実に「主よ」と呼ぶ者となれるように、また、あなたのみことばを聞き、行う人になれるように助けてください。

**【学びのために】**

マタイ 7.21-29、ヤコブ 1.22-25 も参照。